

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ よく考える子ども ○ けんこうな子ども ○ すすんで働く子ども ◎ 思いやりのある子ども 	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
		【目指す児童・生徒像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供
		【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に應ずることなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	答えのない課題に最善解を導くことができる資質能力を育成する。	基礎的・基本的な学習内容の定着	教育活動全体を通して「書くこと」を重視	4 授業で書くことを重視…90%以上の授業	3	4 「書くことが好き」…80%以上の児童	4	○「書くこと」を重視 ○「短作文」の成果 ●推進プランを要改善	探究心、創造力を育成 十分話し合う努力を重視	A	研究方針に沿って、すべての学級で継続的に確実に取り組んでいる。
				3 授業で書くことを重視…80%以上の授業		3 「書くことが好き」…70%以上の児童					
				2 授業で書くことを重視…70%以上の授業		2 「書くことが好き」…60%以上の児童					
4 やさしい学習指導…90%以上の授業	3	4 授業が分かりやすい…80%以上の児童	4	○主体的な学び ○ICTによる授業改善 ●探究学習を充実推進	A	授業の振り返りを大切に、児童が自ら学びに向かう姿勢を培っていく。					
3 やさしい学習指導…80%以上の授業		3 授業が分かりやすい…70%以上の児童									
2 やさしい学習指導…70%以上の授業		2 授業が分かりやすい…60%以上の児童									
4 やさしい学習指導…70%未満の授業	2	4 授業が分かりやすい…60%未満の児童	3	○学習意欲と習慣向上 ○自主学習の向上 ●放課後補習時間確保	B	補習時間の確保など、時間と場や方法を確保する。					
3 家庭学習との連携を図る…週3回以上		4 学年×10分の達成…80%以上の児童									
2 家庭学習との連携を図る…週2回		3 学年×10分の達成…70%以上の児童									
2 家庭学習との連携を図る…週1回	1	2 学年×10分の達成…60%以上の児童	4	●興味付けで学習を深化	A	興味付けで学習を深化					
1 家庭学習との連携を図る…週1回未満		1 学年×10分の達成…60%未満の児童									
1 家庭学習との連携を図る…週1回未満		1 学年×10分の達成…60%未満の児童									
豊かな心	自分も、他の人も、敬意をもって大切にできる豊かな心性を育成する。	社会性の向上	認知機能や感情統制の支援	4 認知機能・感情統制支援…週3回以上	1	4 社会通念上のいじめ…0件	3	○穏やかな学校生活 ○やり抜く姿勢の向上 ●コグトレで認知機能	児童に熱い眼差し 社会のニュースも教材	C	社会性を育てるための認知、感情統制、対人スキル等を育成する。
				3 認知機能・感情統制支援…週2回		3 社会通念上のいじめ…1件から6件					
				2 認知機能・感情統制支援…週1回		2 社会通念上のいじめ…7件から12件					
4 認知機能・感情統制支援…週1回未満	2	4 社会通念上のいじめ…13件以上	4	○互いを認め合う心 ○自己有用感の向上 ●QUのさらなる活用	B	話し合い活動が大切 柔軟な指導で主体性を					
3 自己有用感を図る特活…月3回以上		4 自己の価値を実感…80%以上の児童									
2 自己有用感を図る特活…月2回		3 自己の価値を実感…70%以上の児童									
2 自己有用感を図る特活…月1回	3	2 自己の価値を実感…60%以上の児童	4	○児童の共通理解 ○変化を見逃さない ●SOSカードの開発	A	SOSカードの導入し、話しやすい大人が校内にいるという雰囲気を醸成する。					
1 自己有用感を図る特活…月1回未満		1 自己の価値を実感…60%未満の児童									
1 自己有用感を図る特活…月1回未満		1 自己の価値を実感…60%未満の児童									
健やかな体	生涯にわたるスポーツに親しみ、心身ともに健康に過ごす資質能力を育成する。	基本的な生活習慣・食習慣の定着	生活習慣改善に向けた家庭との協働	4 生活・学習のすすめを活用…月3回以上	2	4 1日の病欠児童数…平均3人以下	3	○生活習慣の向上 ○感染防止の徹底 ●食育の計画的な推進	早寝早起き朝ご飯推進 家庭と連携した食育	C	食習慣と正しい知識を身に付けるよう家庭・地域との連携した指導を行う。
				3 生活・学習のすすめを活用…月2回		3 1日の病欠児童数…平均4～5人					
				2 生活・学習のすすめを活用…月1回		2 1日の病欠児童数…平均6～8人					
4 生活・学習のすすめを活用…月1回未満	2	4 1日の病欠児童数…平均9人以上	3	○運動習慣が低下 ●取組が不足 ●元氣UP活用を充実	B	子供の笑顔が評価 体験や共同作業が大切					
3 元氣アップの取組…18項目以上		4 運動することが楽しい…80%以上の児童									
2 元氣アップの取組…14項目以上		3 運動することが楽しい…70%以上の児童									
2 元氣アップの取組…10項目以上	2	2 運動することが楽しい…60%以上の児童	2	○オリパラ教育が停滞 ●取組が欠如 ●最終年度としてまとめ	D	一律な基準は必要ない 個に応じた目標づくりを					
1 元氣アップの取組…10項目未満		1 運動することが楽しい…60%未満の児童									
4 4×4の取組…全学級年3回以上		4 オリパラの精神の理解…80%以上の児童									
3 4×4の取組…全学級年2回	2	3 オリパラの精神の理解…70%以上の児童	2	●最終年度としてまとめ	B	オリパラの精神に立ち戻り、心を掛す取り組みを					
2 4×4の取組…全学級年1回		2 オリパラの精神の理解…60%以上の児童									
1 4×4の取組…全学級年1回未満		1 オリパラの精神の理解…60%未満の児童									
輝く未来	社会や世界と向き合い、未来の創り手となる資質能力を育成する。	課題解決・探究的な学習の充実	学校図書館機能の活用充実	4 図書館を活用した授業…全学級月3回以上	2	4 図書の貸出冊数…年間平均50冊以上	3	○総合学習の単元開発 ○年間指導計画の開発 ●SDGs思索・思考道場	読書が言語力向上に 読書が多様な出会いを育成。	B	探究的な見方・考え方を働かせて、未知の課題に対峙する資質・能力を育成。
				3 図書館を活用した授業…全学級月2回		3 図書の貸出冊数…年間平均30冊以上					
				2 図書館を活用した授業…全学級月1回		2 図書の貸出冊数…年間平均10冊以上					
1 図書館を活用した授業…全学級月1回未満	3	1 図書の貸出冊数…年間平均10冊未満	4	○自分の言葉で表現 ○話し合い活動が充実 ●探究ノート開発・活用	A	教育活動全体で取組 関心と観察力を上げる					
4 略案による授業観察…年6回以上		4 話し合いができる…80%以上の児童									
3 略案による授業観察…年5回		3 話し合いができる…70%以上の児童									
2 略案による授業観察…年4回	1	2 話し合いができる…60%以上の児童	4	○集団と個の関係重視 ●異年齢の活動が停滞 ●縦割り班活動の精選	B	真っ直ぐ育てている 恒常的に取り組むこと					
1 略案による授業観察…年3回以下		1 話し合いができる…60%未満の児童									
4 家庭や地域と協働した取組…年3回以上		4 学校は信頼できる…80%以上の保護者									
3 家庭や地域と協働した取組…年2回	1	3 学校は信頼できる…70%以上の保護者	4	●縦割り班活動の精選	B	児童集会や縦割り班活動を重視し、主体的な行動、自治的な力を育てる。					
2 家庭や地域と協働した取組…年1回		2 学校は信頼できる…60%以上の保護者									
1 家庭や地域と協働した取組…年1回		1 学校は信頼できる…60%未満の保護者									